



しあわせを
見つけよう!

ふくしのつとめ 2024



地震・豪雨・土砂崩れ…
いざという時の地域の方
ふだんのくらしの中から
自分たちができていることを
いっしょに考えていきましよう

令和6年8月25日(日)

午後1時30分より

5年ぶりの開催です。

今年のつとめは《災害について考える》

地域交流センター

で会いましょう! スタンプラリーもあるよ!



感染予防対策をしてお越しください。

おみ社協HP



3階ホール

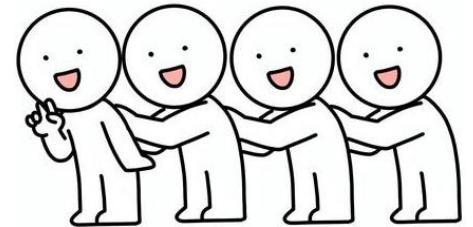
デイサービスだけじゃもったいない
体操界のアイドル
ごぼう先生の体操プログラムを
体験しよう

誰でも
アスリート!
ニュースポーツに
挑戦

あなたの姿勢は大丈夫?

姿勢測定会《Sisei Cam》

佐久平総合リハビリセンター
3分で体のゆがみがわかる!
その場であなたに合った運動指導を
理学療法士が行います。



2階

災害について考えよう

- ・いま日本全国で起きている災害について考える
- ・避難所での生活や食事、トイレについて考える
- ・いざという時の非常食
- ・ご近所のつながりについて考える
- ・暮らしに役立つ福祉用具
- ・ほっと一息 お休み処



詳しくは新聞の折込チラシ等
でお知らせします。

1階 受付・総合案内

なんでも相談コーナー

フードドライブにご協力ください。

- ① 常温保存できるもの
- ② 未開封のもの
- ③ 賞味期限が1か月以上あるもの

「もったいないな…」
ご家庭で余っている食品がありましたら寄附をしてみませんか。社協から必要としている団体やご家庭等にお届けします。

お困りのこと
ありましたら
そっご相談
ください

外では福祉車両
展示や体験を
行います



★ 送迎の必要な方は直接社協までご相談ください。67-3099

令和5年度の事業について

令和5年度は新型コロナウイルス感染症がインフルエンザ等と同じ扱いとなりましたが、引き続き感染症対策を重点的に行った1年でした。村内でも8月や年末年始に新型コロナの感染が広がり、社協でも8月の「ふくしのつどい」を中止せざるを得ませんでした。

ただ、5類への移行により地域支援事業の各種教室や講座を積極的に実施できるようになり、地域の皆様にも社協らしいサービスが年間で中断することなく提供できるようになった1年でもありました。

メイン事業の介護保険事業については、諸物価の高騰、利用傾向や高齢者人口の変化で厳しい運営状況となっていますが、皆様が住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らしていけるためのお手伝いをさせていただけるよう引き続き努力してまいります。

今年度は新年早々《令和6年能登半島地震》が発生、改めて災害の怖さを実感しております。社協では災害対策として《災害時支え合い台帳》の更新と《災害時支え合いマップ》の作成支援等、各地区への支援を今年も行っています。

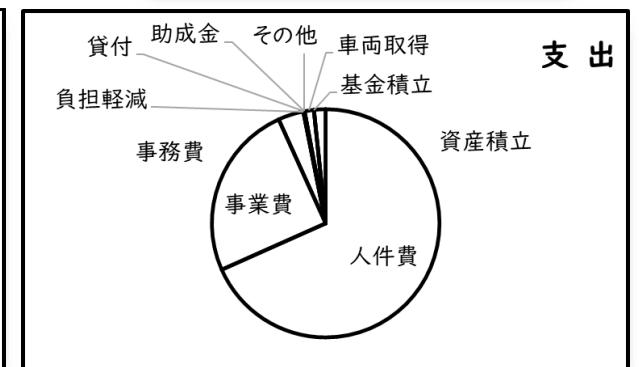
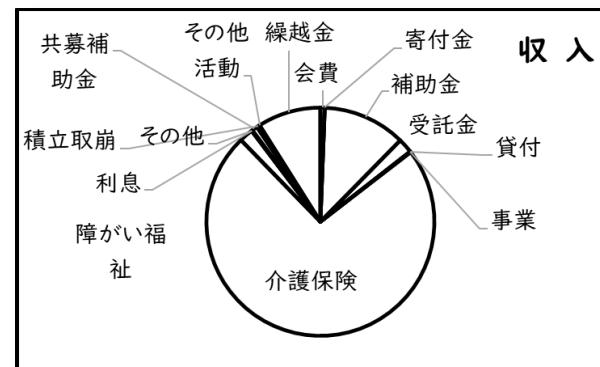
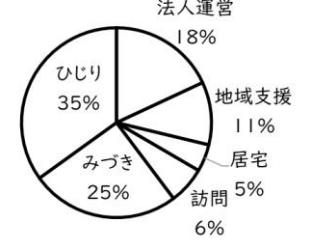
また、8月25日開催の「ふくしのつどい」でも、災害についてみんなで考えるきっかけになるように計画中です。ぜひご来場ください。



令和5年度の決算について

収入総額 214,476,382円
 支出総額 189,950,198円
 収支差額(次年度繰越金) 24,526,184円

事業別割合



令和6年度の社協会費納入の内訳と御礼

今年度5月、区長さんを通じて納入いただきました令和6年度の会費についてご報告いたします。

皆様の会費は、地域共生社会の推進、福祉教育・ボランティア活動の推進、災害時の体制作り、社協報の発行等の情報発信など役立ててまいります。

皆様のご協力、ありがとうございました。

一般会費 1,040,000円
 賛助会費 57,000円
 特別会費 40,000円



日赤活動資金にご協力ありがとうございました。

お寄せいただいた浄財は、災害等における医療救助活動や救援物資の配布、血液事業、看護師養成、奉仕団育成など様々な赤十字活動の資金として使われます。

赤十字の活動は、皆様から寄せられた活動資金によって支えられています。ご協力ありがとうございました。

令和6年度
 社費 42,500円
 寄付金 259,850円
 合計 302,350円

日赤災害義援金にご協力いただき、ありがとうございました。

お寄せいただきました義援金は、市区町村等の自治体へ配分され、被災地の方々の生活支援に役立てられます。

令和6年
 能登半島地震災害義援金
 383,181円(3月末)
 役場・福祉センター・シェーンガルデン・みづきに募金箱設置



生活のお困りごとお気軽にご相談ください

生活福祉資金貸付窓口
 まいさぼ出張相談所
 フードバンク



救急医療情報キットを設置された皆様へ

あなたの冷蔵庫の中に、黄色い「救命」ラベルのキットが入っていませんか？
 情報カードの内容や、飲んでいるお薬等に変更があった場合、速やかにキットの中身の見直しをお願いします。お問い合わせは社協まで。
 また、新たにご希望の方も、社協、またはお近くの民生委員さんまでご連絡ください。

